

介護福祉事業部



愛生訪問看護ステーション

介護福祉事業部 看護管理師長 中川 美樹子

➤ 特徴

北区を中心に守山区、東区、西区を訪問地域とし、地域住民の身体悪化防止、生活機能維持・向上の要望に応えるため、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の連携を強みに、365日24時間対応体制で看護とリハビリを提供しています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護はすでに3年経過し定着しております。

今年度は、当事業所の「在宅看取り」「他事業所対応困難」等の依頼を断らない基本姿勢が、地域の介護事業所に広まり今年度は営業活動なく依頼されるようになりました。またターミナル期の在宅一時退院から再入院までの短期間の利用依頼が増えた傾向にありました。今後病状の安定した利用者さまを定期訪問予定として計画を立て、短期訪問期間であるターミナル期の利用者さまを積極的に受け入れる体制で臨んでおります。

➤ 2017年目標

- 1) 看護とリハビリの質の向上
人材育成（定期事業所内勉強会、事業所外研修の積極的参加）
定期カンファレンスの充実、
職員同行訪問にて技術の向上、
- 2) 地域医療機関、地域介護事業所との連携強化
ネットワークの構築

➤ 実績

項目	件数
連携医療機関（訪問看護指示機関）数	88
連携居宅介護支援事業所数	51
連携障害支援センター数	2
訪問延べ件数	11,226
内) 医療保険対応件数	2,199
内) 介護保険対応件数	9,027
新規契約者数	78
利用終了者数	76

あいせいケアステーション

管理者 船場 良介

➤ 特徴

平成26年10月1日の開設から3年目となりました。平成28年6月から始まった“新しい総合事業”に参入し、予防支援サービス体制も充実してきました。平成28年9月からは介護職員による喀痰吸引等研修への参加を開始し、認定特定行為業務従事者が順次誕生しています。より重度の要介護者へのサービスにも対応していけるよう職員個別の研修計画を作成するなど日々職員のスキルアップに努めています。

➤ 2017年目標

認定特定行為業務従事者を増やしていき、登録喀痰吸引等事業者への申請・登録することで、喀痰吸引や経鼻経管栄養等の介助を要する方への支援体制を整えていきます。また、通院介助や行先の限定されない外出介助など、介護保険外サービスを提供するための体制を整え、幅広い利用者ニーズに応えていきます。これらの取り組みにより訪問介護サービスを必要とされる方へより広くサービスを提供し、周辺地域への貢献を目指します。

あいせいデイサービスセンター

管理者 中野 正佐仁

▶ 特徴

利用者さまのアセスメントを重視し、利用者さまが「できるようになりたいこと」や「やりたいこと」を共に考え取り組み、屋外歩行訓練や階段昇降訓練等を積極的に行い、機能訓練指導員と心身の状態に合った根拠ある生活期のリハビリを提供しています。40代～100代の方まで幅広く利用されています。男性の利用者さまが多いこともあり、麻雀等のレクリエーションや利用者さま同士でお仕事の話で盛り上がりたたりと活気のあるデイサービスとなっています。

▶ 2017年目標

利用者さまの自立支援を目指し、機能訓練指導員を中心としたチームで個別機能訓練の取り組みを充実させ、生活機能の維持・向上を図っていきます。利用者さまの地域の暮らしを支えるため、地域の団体やボランティア団体等と連携し、地域連携の拠点となるよう生活相談員の活動を広めていきます。学生の実習施設としても、日本福祉大学・愛生看護専門学校の実習を受け入れ、利用者さまにとって安心して楽しく機能向上が図れるデイサービスを目指していきます。

愛生居宅介護支援事業所

管理者 中嶋 拓

▶ 特徴

愛生居宅介護支援事業所は特定事業所加算Ⅰを取得する事業所として、主に重度の利用者を受け入れ、地域包括支援センターと連携し支援困難事例も積極的に対応しています。また、いきいき相談室の受託による地域の相談窓口として活動し、今年度から介護支援専門員実務研修の実習受け入れ先としても登録しました。

当事業所は現在8名の介護支援専門員（内5名が主任介護支援専門員）が24時間の連絡相談体制をとり、常時230名以上の利用者さまを担当しております。

▶ 2017年目標

あらゆるケースに対応すべく事業所内外の研修・事例検討会への参加により、個々のスキルアップを目指し、介護保険だけでなく他サービスや地域の社会資源等を活用するため、法人内・地域と連携し、慣れ親しんだ地域で人生を全うできるよう支援することで、地域で信頼される事業所を目指してまいります。

また北区居宅介護支援事業者連絡会幹事や名古屋市サービス事業者連絡協議会16区連携委員への参加など、地域社会への参加を積極的に行い、地域包括ケアシステム構築に貢献できるよう努めてまいります。

